

検診を受ける前に 必ず お読みください

1. 検診票を確認する



- ①検診票に記載してある住所・氏名を確認し、変更された場合は正しいものをご記入ください。
- ②受診前に電話番号と裏面の問診票を必ずご記入ください。(集団検診の場合は記入不要)

2. 検診場所を選ぶ

医療機関で受ける



- ①医療機関を選び、直接電話等で予約のうえ、受診してください。
※同封の検診実施医療機関一覧参照
- ②検診結果は受診した医療機関からお伝えします。
ただし、大腸がん検診は検体提出後2週間程度で郵送されます。

集団検診で受ける



- 同封の「集団検診のご案内」(三つ折りチラシ)の集団検診日程表を確認し、予約をしてください。
※予約方法について「集団検診のご案内」(三つ折りチラシ)参照

実施期間	令和4年5月9日～令和5年1月31日 (一部検診のみ2月末日まで)
持ち物	<ul style="list-style-type: none"> ・検診票 ・検診料 検診票の検診料欄に「有料」と印字されている方は検診料が必要です。検診料は、本紙裏面をご参照ください。市県民税非課税世帯・生活保護世帯の方は無料です。 ※世帯の課税状況は、令和3年度課税状況(令和2年の収入により算出)であり、かつ令和3年1月1日時点の世帯を反映しています。 ※令和4年度課税状況が市県民税非課税世帯になられる方は、令和5年度に反映されます。 ※検診費用についての疑問は、必ず検診受診前にお問合せください。 ・健康保険証 検診の他に検査を追加したり、治療を受けた場合は保険診療(有料)となります。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず「集団検診のご案内」(三つ折りチラシ)をご確認ください。 ・検診車は出入口のステップが高く、車内は大変狭くなっております。お体の不自由な方や検診時に気分が悪くなったことのある方は、医療機関での受診をお勧めします。 ・受診者及びお子様の安全確保のため、お子様を連れて受診することはできません。 ・施設内で安全かつ静かに待つことができるお子様については、お子様を連れて会場にお越しいただいても構いません。ただし、施設内や駐車場等でのお子様のケガ、事故等に関しては、検診機関・豊橋市では一切責任を負いかねます。 ・感染症の発生状況や、暴風警報等が発令された場合は、検診を延期・中止することがあります。最新情報は市ホームページをご覧ください。
その他	・年度内に同じ種類の検診を2度以上受診された場合は、検診にかかる費用をお支払いしていただきますのでご注意ください。



豊橋市の主ながん検診

日本人の2人に1人が生涯のうちに「がん」にかかり、3人に1人が「がん」で亡くなっています。特に肺がん・大腸がん・胃がんは、がんによる死亡原因の上位に位置しています。また、乳がんは女性におけるがん死亡原因の上位に位置しており、子宮頸がんの罹患は近年増加傾向にあります。

肺がん検診(1年に1回)

検診方法 胸部エックス線検査、喀痰細胞診検査
 喀痰細胞診検査は、痰の中にがん細胞があるかどうかを顕微鏡で調べます。
精密検査の方法
 病気が疑われた部位をCT検査で詳しく撮影します。このために造影剤を注射することもあります。また、口または鼻から気管支鏡(カメラ)を気管支に挿入して、病気が疑われた部位を直接観察します。必要に応じて細胞を採り検査します。



喫煙と肺がん

たばこを吸う人は吸わない人に比べ肺がんになるリスクが3~4倍高く、たばこを吸う年数、本数が多いほど肺がんになりやすいと研究結果が出ています。たばこは周りの人(受動喫煙者)の肺がんリスクも上げます。禁煙で周りの人の健康な肺も守りましょう。

胃がん検診(2年に1回 偶数年齢)

検診方法 胃部エックス線検査または胃内視鏡検査
 胃部エックス線検査は、バリウムと発泡剤を飲み胃の中の粘膜を観察します。胃内視鏡検査は、口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。
精密検査の方法
 胃部エックス線検査で要精密検査となった場合は、胃内視鏡検査になります。



大腸がん検診(1年に1回)

検診方法 便潜血検査
 専用容器を用いて2日分の便を採取します。がん以外にポリープや痔でも陽性反応(便に血液が付着)が出ることがあります。
精密検査の方法
 全大腸内視鏡検査(肛門から内視鏡を挿入)を行い、大腸内臓の様子を観察します。病気の心配のある部位がみつかる、組織を採取して調べたり、ポリープや早期がんをその場で切除することがあります。
 ※精密検査で便潜血検査を再度行うことは適切ではありません。



子宮頸がん検診(2年に1回 偶数年齢)

検診方法 子宮頸部細胞診
 細胞診は子宮頸部の細胞を綿棒やブラシで採取し、がん細胞の有無を調べます。
精密検査の方法
 コルポスコプという拡大鏡で、子宮頸部の粘膜表面を拡大して細かい部分を観察し、診断(コルポ診)します。その時、異常が疑われる部位があれば、組織を採取して調べます(組織診)。また、細胞診の結果によっては、HPV検査を行い、コルポスコプ検査が必要か判断することがあります。



乳がん検診(2年に1回 偶数年齢)

検診方法 乳房エックス線(マンモグラフィ)検査または超音波(エコー)検査
 乳房エックス線検査は、乳房を装置ではさみ、エックス線撮影し、小さいこりや石灰化を見つけることができます。超音波検査は、乳房に超音波を当てて検査方法で、乳腺が密な若い方に向いています。
精密検査の方法
 乳腺の乳房エックス線検査、超音波検査、MRI検査、CT検査などの画像検査でしこりががんであるかどうかや、病変の広がりを検査します。また、病変に針を刺して細胞を吸いとり調べる穿刺吸引細胞診や、組織の一部を採取する針生検などを行います。



注意 がん検診を待たずに医療機関を受診すべき自覚症状

下記のような自覚症状がある方は、検診ではなく、速やかに医療機関で診察を受けましょう。

- 胃：胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなど
- 肺：血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなど
- 大腸：血便、腹痛、便の性状や回数の変化など
- 子宮：月経(生理)以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則など
- 乳：しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液が出る、乳頭の湿疹やただれなど